

## 非価格要素提案書

- ・ 非価格要素提案書内で使用する文字は 10 ポイント以上とすること。  
図表中の文字はこの限りではないが、見やすいよう工夫すること。
- ・ 各様式ごとに定められたページ枚数を遵守すること

提案書提出番号【                      】

〔代表企業商号又は名称〕グループ

代表企業名：

注：グループ名及び代表企業名は、正本にのみ記載し、副本には記載しないこと。

**1 地球環境・地域環境への配慮**

**1) 環境負荷の低減が図られた施設 (1) 環境負荷低減策**

**公害防止の対策**

排ガス、騒音、振動、悪臭、排水、焼却灰、飛灰処理物に関する公害防止対策を具体的に説明してください。

**要監視基準値を上回った場合の対処方法**

要監視基準値を上回った場合のそれぞれの対処方法について具体的に説明してください。

**1 地球環境・地域環境への配慮**

**1) 環境負荷の低減が図られた施設 (2) 最終処分場の延命化、飛灰の安定化・無害化**

焼却残渣を削減するための方策

焼却灰、飛灰処理物を削減するための具体的方策を設備面、運転方法等について、過去の納入実績に基づき具体的に説明してください。

飛灰の安定化・無害化の方策

飛灰の安定化、無害化に係る考え方、ダイオキシン類の安定化等処理方法について具体的に説明してください。

**1 地球環境・地域環境への配慮****2) 低炭素社会を推進する施設 (1) サーマルリサイクル****余剰エネルギーの有効利用**

発電効率を向上させるための工夫点及びタービン設計ポイント、想定される電力収支、その他余熱利用の利用方法(熱回収量を含む)について具体的に説明してください。

ごみ量	項目	単位	低質ごみ	基準ごみ	高質ごみ
62,000t/年	発電量	MWh/年			
	電力使用量	MWh/年			
	売電量	MWh/年			
59,000t/年	発電量	MWh/年			
	電力使用量	MWh/年			
	売電量	MWh/年			
タービン設計ごみ質		kJ/kg			
発電効率		%			

1) ごみ量は 62,000t/年、59,000 t/年について算出してください。

2) 数値等は技術提案書(様式第 12 号-11)等と整合するものとしてください。

**ごみ量・質の変化に対応した余剰エネルギー有効利用**

将来的にごみ量が減少した場合やごみ質が低下した場合に、発電効率下がることが予想されますが、その対策として本提案で配慮した点について具体的に方策を説明してください。

**1 地球環境・地域環境への配慮****2) 低炭素社会を推進する施設 (2) 温室効果ガスの削減**

助燃材及び電力使用量からの温室効果ガス(二酸化炭素)排出量

施設稼働時における助燃材及び電力購入に伴う年間あたりの温室効果ガス(二酸化炭素換算)排出量を示してください。なお、売電による二酸化炭素削減量は、排出量から差引くことができます。

項 目	単位	ごみ量62,000t/年			ごみ量59,000t/年		
		低質ごみ	基準ごみ	高質ごみ	低質ごみ	基準ごみ	高質ごみ
買電量	kWh/年						
買電によるCO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年						
排出係数	t-CO <sub>2</sub> /kWh	0.000348					
灯油使用量	/年						
灯油使用によるCO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年						
排出係数	t-CO <sub>2</sub> /						
(燃料)使用量	・kg/年						
(燃料)使用によるCO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年						
排出係数	t-CO <sub>2</sub> /・kg						
(燃料)使用量	・kg/年						
(燃料)使用によるCO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年						
排出係数	t-CO <sub>2</sub> /・kg						
(燃料)使用量	・kg/年						
(燃料)使用によるCO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年						
排出係数	t-CO <sub>2</sub> /・kg						
排出量合計	t-CO <sub>2</sub> /年						
削減量							
売電量	kWh/年						
売電によるCO <sub>2</sub> 削減量	t-CO <sub>2</sub> /年						
排出係数	t-CO <sub>2</sub> /kWh						
合計CO <sub>2</sub> 排出量( - )	t-CO <sub>2</sub> /年						

- 1 助燃材の種類と使用量の内訳を記述してください。
- 2 ごみ量は62,000t/年、59,000t/年、ごみ質は低質ごみ、基準ごみ、高質ごみそれぞれについて算出してください。
- 3 ごみ由来のCO<sub>2</sub>排出量は含めないものとします。
- 4 助燃材、電力からのCO<sub>2</sub>排出量の算定に当たっては環境省HP「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度について」関連資料集  
対象となる排出活動、算定方法一覧(平成22年3月改正版) <http://www.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/material/itiran.pdf>  
を参照してください
- 5 数値等は技術提案書(様式第12号-10、11、温室効果ガス排出量計算書)等と整合するものとしてください。

**温室効果ガス削減のための方策**

温室効果ガス削減のために設備面、運転管理等で配慮した点を削減量とともに具体的に説明してください。

**1 地球環境・地域環境への配慮**

**3) 住民に信頼され、周辺環境と調和する施設 (1) 操業データの公開**

**操業データの公開方策**

施設稼働時の排ガス、騒音、振動等の公害測定値の操業データに係る公開方法を示すとともに、開かれた施設運営を図るために施設設計で配慮した点を具体的に説明してください。

**1 地球環境・地域環境への配慮**

**3) 住民に信頼され、周辺環境と調和する施設 (2) 周辺環境との調和**

**建築物のデザイン**

周辺環境と調和を図るために配慮した建築物のデザイン、色彩等について具体的に説明してください。

**周辺環境との調和の方策**

構内緑化による緑化率を示すとともに、周辺環境との調和を図るための方策(土木構造物等)を具体的に説明してください。

**1 地球環境・地域環境への配慮**

**3) 住民に信頼され、周辺環境と調和する施設 (3) 施工時の環境保全**

施工計画、建設公害防止計画

施工中の公害防止計画(騒音、振動、濁水)を示すとともに、施工計画、近隣への公害防止対策について配慮した点を具体的に説明してください。



## 2 信頼性と安全性の実現

### 1) 安心、安全な施設作りの実現 (1) 安定稼働、安全対策

#### ごみ質・量変動への対応及び機器の余裕

炉の性能線図(最高から最低を幅で示すこと)を示し、ごみ質・ごみ量変動時の対応策について、過去の同規模程度の納入実績を基に具体的に説明してください。

#### トラブル、事故対策

炉停止や環境基準超過、人身事故等に対する本提案における安全対策について、過去のトラブル、事故の事例を挙げる等して具体的に説明してください。

## 2 信頼性と安全性の実現

### 1) 安心、安全な施設作りの実現 (2) 施設の信頼性の確保

構造計画、建築・土木構造

土木・建築構造物の耐久性、耐震性についてごみ焼却施設として配慮した点を具体的に説明してください。

## 2 信頼性と安全性の実現

### 1) 安心、安全な施設作りの実現 (2) 施設の信頼性の確保

#### 維持管理の容易性及び補修期間短縮

D B M方式を前提として、点検、補修の容易性について配慮した点及び補修期間短縮のために配慮した点を具体的に説明してください。

#### 運転の容易性の確保

D B M方式を前提として、施設の運転、日常点検等の運転企業の運転業務を容易にするために配慮した点を具体的に説明してください。

#### 耐久性、プラント構造

30 年以上の使用を可能とするために、プラントの設計面、施工面で配慮した点及び主要設備の主要材質、構造等について具体的に説明してください。

## 2 信頼性と安全性の実現

### 1) 安心、安全な施設作りの実現 (3) 安全性、機能性の確保

#### 施設全体の配置計画・動線計画

施設全体の配置計画や動線計画(搬出入動線、メンテナンス動線)について、安全性、機能性について配慮した事項について具体的に説明してください。

#### 施設内の配置計画・動線計画

施設内の配置計画や動線計画(搬出入動線、メンテナンス動線(運転企業、維持管理事業者))について、安全性、機能性について配慮した事項について具体的に説明してください。

## 2 信頼性と安全性の実現

### 1) 安心、安全な施設作りの実現 (4) 労働安全性

#### 作業員への安全配慮

作業員の安全対策のため機器配置及び作業環境において工夫した点について、具体的に説明してください。

## 2 信頼性と安全性の実現

### 1) 安心、安全な施設作りの実現 (5) 施設のバリアフリー化

#### 見学者への安全配慮

小学生や一般見学者への見学者ルート等において安全面で配慮した点を具体的に説明してください。

## 2 信頼性と安全性の実現

### 1) 安心、安全な施設作りの実現 (6) 災害対策

#### 災害対策

地震・水害等の自然災害及び火災に強い施設とするために配慮した点を具体的に説明してください。

#### 災害発生時の対応策

災害発生時における稼動停止基準及び稼動再開基準を示し、容易に稼動再開できるように配慮した点を説明してください。

#### 災害廃棄物の処理

災害廃棄物を受入、処理するために配慮した点を具体的に説明してください。

## 2 信頼性と安全性の実現

### 2) 安定性に優れた事業 (1) 収支計画

確実かつ安定的な長期収支計画

事業収支の安定確保に対する考え方について説明してください。



**2 信頼性と安全性の実現****2) 安定性に優れた事業 (1) 収支計画**

維持管理事業者の開業費

維持管理事業者の開業にかかる費用について下記の表に記入してください。

**開業費**

(単位:円)

項 目	建設期間				総 計
	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	
総 計					

- 1 開業費には、建設期間中の運営事業者にかかる費用、支出(設立経費、人件費、事務所経費等)を記載すること。
- 2 維持管理事業者設立資本金は含まないこと。
- 3 物価変動は加味せず、消費税は含まないこと。
- 4 記載の金額は、様式第14号-2と整合をとること。

**損益計算書**

&lt;様式 13 号-18&gt; を使用してください。

**キャッシュフロー計算書**

&lt;様式 13 号-19&gt; を使用してください。

事業収支表

損益計算書		( 単位：千円 ( 消費税抜き ) )																							
年度	項目	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度	平成 36年度	平成 37年度	平成 38年度	平成 39年度	平成 40年度	平成 41年度	平成 42年度	平成 43年度	平成 44年度	平成 45年度	平成 46年度
・ 営業収益																									
維持管理費	固定費																								
	変動費																								
・ 営業費用																									
維持補修費																									
人件費																									
その他経費																									
変動費																									
・ 税引き前利益																									
・ 法人税等																									
・ 税引き後利益																									

- 1 一円未満は切り捨てること。ただし、表示は千円単位とする。( したがって、小数点第三位まで入力し、表示は小数点第一位を四捨五入すること。 )
- 2 物価変動及び消費税を除いた金額を記入すること。
- 3 提案する運営期間の該当年度に金額を記入すること。
- 4 法人税等( 法人税、事業税、住民税 )は、実際に納付する年度が所得算定の年度と異なる場合でも、所得算定の年度に納付するものとして計上すること。
- 5 可能な範囲で詳細に記載し、記入欄が足りない場合は、適宜追加すること。
- 6 平成46年度の欄は、維持管理期間終了後における改修等対応及び維持管理事業者の清算に係る費用等を必要に応じて計上すること。

税額計算		( 単位：千円 ( 消費税抜き ) )																							
年度	項目	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度	平成 36年度	平成 37年度	平成 38年度	平成 39年度	平成 40年度	平成 41年度	平成 42年度	平成 43年度	平成 44年度	平成 45年度	平成 46年度
税引き前利益																									
繰越欠損金																									
課税所得																									
法人税等																									
法人住民税																									
法人税等 ( 合計 )																									

- 1 一円未満は切り捨てて小数点第三位まで入力し、表示は小数点第一位を四捨五入すること。
- 2 物価変動及び消費税を除いた金額を記入すること。
- 3 提案する維持管理期間の該当年度に金額を記入すること。
- 4 法人税等( 法人税、事業税、住民税 )は、実際に納付する年度が所得算定の年度と異なる場合でも、所得算定の年度に納付するものとして計上すること。
- 5 可能な範囲で詳細に記載し、記入欄が足りない場合は、適宜追加すること。

説明欄

事業収支表

キャッシュフロー計算書

[単位:千円(消費税抜き)]

年度 項目	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度	平成 36年度	平成 37年度	平成 38年度	平成 39年度	平成 40年度	平成 41年度	平成 42年度	平成 43年度	平成 44年度	平成 45年度	平成 46年度
・営業活動によるキャッシュフロー																								
税引き後利益																								
開業費償却費																								
・投資活動によるキャッシュフロー																								
設備投資																								
開業費																								
・財務活動によるキャッシュフロー																								
短期借入金																								
短期借入金返済																								
長期借入金																								
長期借入金返済																								
出資(資本金)等																								
・正味のキャッシュフロー																								
内、積立金・準備金等																								
・累積キャッシュフロー																								

- 1  一円未満は切り捨てて小数点第三位まで入力し、表示は小数点第一位を四捨五入すること。
- 2  物価変動及び消費税を除いた金額を記入すること。
- 3  提案する維持管理期間の該当年度に金額を記入すること。
- 4  可能な範囲で詳細に記載し、記入欄が足りない場合は、適宜追加すること。

説明欄

## 2 信頼性と安全性の実現

### 2) 安定性に優れた事業 (2) 入札参加者等の構成と役割

入札参加者の構成、役割分担の適切性

入札参加者の構成員及び協力企業の構成、それぞれの役割分担について具体的に説明してください。

維持管理事業者への支援体制

代表企業、構成員、協力企業の維持管理期間を通じた維持管理事業者への支援体制及びその方法について具体的に説明してください。

**2 信頼性と安全性の実現****2) 安定性に優れた事業 (3) リスク管理**

リスク管理の基本的考え方

D B M方式を前提としてリスク要因を抽出し、その対応方法を含めたリスク管理計画及び維持管理事業者支援策について具体的に説明してください。

維持管理事業者が付保する保険

維持管理事業者が加入する保険を示すとともに、その保険に付保することを提案した理由を具体的に説明してください。

(単位：円)

保険の種類	保険金額	年間保険料	内容
合 計			

記載の金額は、様式第 14 号-2 の 金額と整合をとること。

**2 信頼性と安全性の実現****2) 安定性に優れた事業 (4) 維持管理費に対する考え方**

ごみ量等の変動への対応

提案した固定費、変動費を示し、それぞれ考え方、妥当性について具体的に説明してください。

**ア) 固定費****a) 提案金額**

維持管理費内訳			購入金額
維持補修費	第1期：平成27年4月～平成32年3月 1支払期（3か月）の金額		【提案金額】円
	第2期：平成32年4月～平成37年3月 1支払期（3か月）の金額		【提案金額】円
	第3期：平成37年4月～平成42年3月 1支払期（3か月）の金額		【提案金額】円
	第4期平成42年4月～平成47年3月 1支払期（3か月）の金額		【提案金額】円
人件費	1支払期（3か月）の金額		【提案金額】円
その他経費	1支払期（3か月）の金額		【提案金額】円

**b) 金額の考え方、妥当性****イ) 変動費****a) 変動費単価**

\_\_\_\_\_ 円/ごみ t

**b) 変動費単価の考え方、妥当性**

**3 ライフサイクルコストの縮減****(1) 用役費の適正****用役量の適正**

灯油、電気、活性炭、消石灰、油脂類の年間あたりの使用量とその算定根拠を示してください。

項 目	単位	ごみ量62,000t/年			ごみ量59,000t/年		
		低質ごみ	基準ごみ	高質ごみ	低質ごみ	基準ごみ	高質ごみ
灯 油	/年						
電 気	kWh/年						
燃料（灯油以外）							
薬 剤							
油 脂 類							
そ の 他							

- 1 ごみ量は62,000t/年、59,000 t/年、ごみ質は低質ごみ、基準ごみ、高質ごみそれぞれについて算出してください。
- 2 技術提案書（様式第12号-10、11）と整合をとること。
- 3 燃料（灯油以外）、薬剤、油脂類、その他について複数使用がある場合、合計値を記載してください。

### 3 ライフサイクルコストの縮減

#### (2) 用役費低減方策

用役費低減のための方策

ＤＢＭ方式を前提として、用役費低減のために配慮した誤操作防止策、過剰使用発見・防止方策等の具体的方策を説明してください。



### 3 ライフサイクルコストの縮減

#### (3) 処理システム

##### 維持補修費の低減

維持補修費を低減するために本提案において採用した方策について、過去の納入実績を基に具体的に説明してください。

#### 4 維持管理性の確保

##### (1) 維持管理体制

###### 維持管理体制

維持管理体制を稼働初期、安定稼働期のそれぞれを図示し、配置する要員のそれぞれの役割及び資格・能力・経験について具体的に説明してください。

#### 4 維持管理性の確保

##### (2) 維持管理計画

維持管理計画、運営マニュアルの作成及び更新、運転計画、日常点検、定期点検

施設の維持管理計画、運営マニュアルの作成及び更新の方法、運転計画、日常点検、定期点検の日程、内容について考え方を具体的に説明してください。

市が行う調整に対する協力支援

市が行う市、維持管理事業者及び運転企業間の調整に対する協力・支援方法並びに体制について具体的に説明してください。

定期点検及び整備の実施体制

定期点検及び定期整備の市、運転企業を含めた実施体制について具体的に示してください。

市との連絡・協議方法、情報提供方法

市への連絡、協議方法、市が行う市民への情報提供に対する協力支援について考え方及びその方法について具体的に説明してください。 "

#### 4 維持管理性の確保

##### (3) 緊急時対応計画

事故・災害・重大な設備の故障等の対応計画・体制

事故・災害・重大な設備の故障等における初期対応、市・維持管理事業者・運転企業の情報の一元化、連絡・協議・調整方法について、基本的考え方とその方法について具体的に説明してください。

#### 4 維持管理性の確保

##### (4) 施設の 30 年以上使用のための計画・提案

###### 30 年以上の使用のための性能維持方法

技術提案書様式第 12 号-8、9 に示した維持管理期間の 20 年 3 ヶ月及びその後 10 年間の維持・補修計画について、30 年以上にわたる使用を可能にするための、長寿命化計画策定の考え方、維持管理期間中の性能維持方法、維持管理期間終了後 10 年間の性能維持方法について具体的に説明してください。

###### 事業終了後のフォロー

事業終了後の本施設の維持管理における本市に対する支援体制について説明して下さい。

#### 4 維持管理性の確保

##### (5) 業務の引継

円滑な業務引継方法、情報引継方法・範囲

事業終了時及び維持管理事業者倒産等不測の事態における維持管理業務の引継における教育訓練方法やその内容について具体的に説明してください。また、維持管理期間終了時の維持管理に必要な情報の開示引継範囲及び引継開示方法についても記載してください。

**5 地域経済への貢献****(1) 建設工事における地元企業等の活用**

建設工事における地元企業等の活用、地元雇用

建設工事における地元企業（都城市又は三股町に本店若しくは営業所がある企業）、NPO 等の活用及び地元雇用（都城市及び三股町在住）について、具体的に説明してください。また、その発注予定期間、金額についても示してください。

発注予定金額及び施設整備費の総額に対する地元還元率

	地元活用内容	発注予定期間	発注予定金額(税込)
建設 工事		年 月 ~ 年 月	千円
		年 月 ~ 年 月	千円
		年 月 ~ 年 月	千円
	計	-	千円

**5 地域経済への貢献****(2) 維持管理事業における地元企業等の活用**

維持管理事業における地元企業等の活用、地元雇用

維持管理事業における地元企業（都城市又は三股町に本店若しくは営業所がある企業）、NPO等の活用及び地元雇用（都城市及び三股町在住）について、具体的に説明してください。また、その発注予定期間、金額についても示してください。

発注予定金額及び維持管理費の総額に対する地元還元率

	地元活用内容	発注予定期間	発注予定金額(税込)
維持 管理 業務		年 月 ~ 年 月	千円
		年 月 ~ 年 月	千円
		年 月 ~ 年 月	千円
	計	-	千円



**5 地域経済への貢献****(3) 運転企業への支援**

運転企業に対する教育訓練・指導体制

運転企業の契約期間における教育訓練・指導体制及びその方法について具体的に説明してください。

また、運転企業変更時の教育訓練費の内訳について提示し、その金額の設定根拠、運転企業変更時の教育訓練体制及びその方法について具体的に説明してください。

教育訓練費の内訳提案金額

項目	提案金額
$K$ : 教育訓練費のうち教育訓練を受ける人数が変動しても変わらない固定費	円
$L$ : 教育訓練費のうち班長クラスの運転員 1 人当たりを教育訓練するのに必要な費用	円/人
$M$ : 教育訓練費のうち班員クラスの運転員 1 人当たりを教育訓練するのに必要な費用	円/人

$$1 \quad \text{教育訓練費} = Fe_{t-1} = \{K + L \times y + M \times z\} \times \frac{Ie_{t-1}}{Ie_{22}}$$

入札説明書添付資料「3. 教育訓練費の支払い」を参照してください。